

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 8 月 18 日 (2016.8.18)

【公表番号】特表 2015-523169 (P2015-523169A)

【公表日】平成 27 年 8 月 13 日 (2015.8.13)

【年通号数】公開・登録公報 2015-051

【出願番号】特願 2015-524379 (P2015-524379)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/34

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 6 月 28 日 (2016.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロテーゼにおいて、

単一層の固体材料から成る半関節形成カップを備え、前記半関節形成カップが、

リーマ加工された、またはリーマ加工されていない大腿骨の大腿骨頭の大腿骨頭外面に適合する形状およびサイズの内面、および

臼蓋窩のリーマ加工された、またはリーマ加工されていない寛骨臼外面に適合する形状およびサイズの外面であって、植え込み後に、前記半関節形成カップが、前記大腿骨頭外面および前記臼蓋窩の前記半関節形成カップに対する関節接合のゆとりを維持するように構成された、外面を有することを特徴とする、プロテーゼ。

【請求項 2】

プロテーゼにおいて、

内面および外面を有する少なくとも部分的に半球型のカップであって、前記内面が、大腿骨のリーマ加工された大腿骨頭外面に適合する形状およびサイズであり、前記外面が、臼蓋窩のリーマ加工された、またはリーマ加工されていない寛骨臼外面および半関節形成カップの内面の少なくとも一方に適合する形状およびサイズである、半球型カップと、

前記半球型カップの一部と係合して前記半球型カップを前記大腿骨頭外面に固定するための、前記大腿骨に固定可能なファスナと、を備えることを特徴とする、プロテーゼ。

【請求項 3】

プロテーゼにおいて、

カップ型大腿骨頭プロテーゼと、

内面および外面を有する単一の半関節形成カップと、を備え、前記内面が、前記カップ型大腿骨頭プロテーゼに回動可能に係合して関節接合する形状およびサイズであり、前記外面が、臼蓋窩のリーマ加工された、またはリーマ加工されていない寛骨臼外面に回動可能に係合して関節接合する形状およびサイズであることを特徴とする、プロテーゼ。

【請求項 4】

前記半関節形成カップが、固定支援手段を用いて前記臼蓋窩に固定されないことを特徴とする、請求項 1 に記載のプロテーゼ。

【請求項 5】

前記半関節形成カップの外面が、前記リーマ加工された寛骨臼外面に適合する形状およ

びサイズである、請求項 1 に記載のプロテーゼ。

【請求項 6】

前記半関節形成カップの外面が、前記リーマ加工されていない寛骨臼外面に適合する形状およびサイズである、請求項 1 に記載のプロテーゼ。

【請求項 7】

前記固体材料が、コバルトクロム、鋼またはアルミニウムを含む、請求項 1 に記載のプロテーゼ。

【請求項 8】

前記半関節形成カップが、ポリエチレン、コバルトクロム、鋼またはアルミニウムの一体物である、請求項 3 に記載のプロテーゼ。

【請求項 9】

前記カップ型大腿骨頭プロテーゼの内面から延びるファスナシャフトを更に備える、請求項 3 に記載のプロテーゼ。

【請求項 10】

前記ファスナシャフトが、
受容開口において前記カップ型大腿骨頭プロテーゼに固定されるねじ端部と、
前記ねじ端部と反対側の前記ファスナシャフトの端部に配置された固定ヘッドと、
を備える、請求項 9 に記載のプロテーゼ。

【請求項 11】

前記ファスナシャフトが、カニューレ挿入されている、請求項 9 に記載のプロテーゼ。